

民間放送局における CM・番組審査業務と広告倫理に関する研究



【中野キャンパス】人文社会学部 経営学科 経営コース 教授

鈴木 克実 Suzuki Katsumi

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード : CM・番組審査業務・放送基準・放送倫理・テレビ・ラジオ・企業広告



研究の概要

SDGs 目標 12 : つくる責任 つかう責任

SDGs 目標 16 : 平和と公正をすべての人に

私は約 37 年間、テレビ局 2 社とラジオ局 1 社での、実務家として就業経験を有している。本研究は、民間テレビ局の審査業務の理解促進となることを目指すべく、これまで一般には知られていなかった CM や番組の審査業務の社内組織フロー(図)を明らかにするとともに、業務遂行時の問題点や放送業界全体における審査の課題などについて検討する。テレビ局・ラジオ局での実務経験に基づいた約 8 年半、延べ 6,200 件以上にのぼる CM 及び番組審査データを詳細分析する。

審査全体手順(A→B→C)と審査内容(①→②→③)及び判断材料

その上で、審査担当のバイブルとされる『民放連 放送基準解説書』の条文別に過去の審査事例を検証しつつ、どのような内容の CM の審査傾向があるのかと、放送倫理の観点より問題となる部分が、どこに多く存在しているのかを探索する。

最終的に、これからの放送局の審査担当においては「習慣形成」並びに「社会的妥当性」の意識を持ちつつ、最新の情報収集と継続的な広告リテラシー向上が求められることを指摘する。

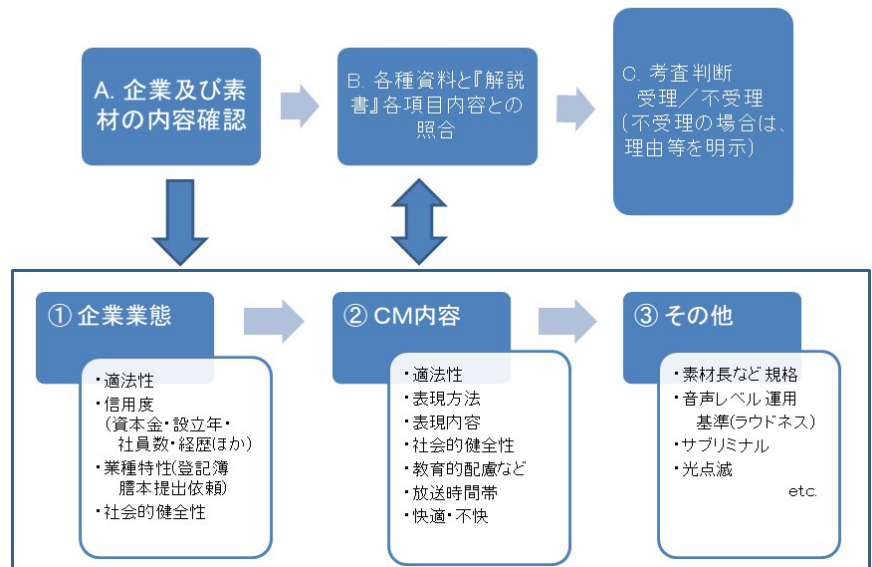


図 CM の審査フロー (筆者作成)

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

【実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント】

テレビ局やラジオ局、CM 及び広告制作会社、広告会社、広告宣伝担当・広報担当・IR 担当など、広告審査部門及び広告制作サイドにいる企業または担当者には有益となる情報を届けることができます。

【研究に対するニーズ】

特に健康食品や化粧品等の通信販売会社に関係する組織において、広告審査情報の知見を活かしたアドバイスが可能です。本シーズを通して連携や協力が可能であり、有益な審査情報を基に、効率的なビジネス展開を促進したいと考えております。

知的財産・論文・学術発表など (詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください)

【論文】

- ・「地方独立テレビ局の編成戦略と地域学習 ～地域資源番組の編成事例から～」
- ・「組織学習から考える民間地方テレビ局の「大人アニメ」編成戦略」
- ・「Exploring the Possibility of Regional Brand Expression Through Regional Learning by Local Independent TV Stations -Case Study of Mie Television Broadcasting and Kyoto Broadcasting」